

大阪府新型コロナウイルス対策本部（第 6 回）

1. 最新の発生状況

<発生状況(2月25日版 厚生労働省発表資料)>

	患者	うち死亡者	備 考
中国	77,658	2,263	
日本	156	1	・左記のうち、チャーター機 15 名 ・左記のうち、無症状病原体保有者 16 名(うち、チャーター機 4 名) ・左記のほか、クルーズ船 691 名(うち無症状病原体保有者 380 名)
(うち大阪府)	1	0	・日本で 8 例目。ツアーバスガイド(退院)
その他	1,556	30	・中国、日本以外で 35 の国・地域で発生

<大阪府の状況>

- ・2月25日までの検査実施数 153 件(うち陽性 1 件)
- ・健康観察の状況
 - 府内で確認された患者の濃厚接触者…10 名特定し、健康観察終了(有症状者なし)
 - 府外(和歌山県)で確認された患者の濃厚接触者…12 名特定し、健康観察終了(有症状者なし)
 - クルーズ船の下船者…47 人について、下船後2週間を経過する日まで健康観察を実施中

2. WHO(世界保健機関)及び厚生労働省の対応

<WHO声明>

- ・新型コロナウイルス関連肺炎の発生状況が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると発表(1/31)
- ・新型コロナウイルスの致死率が 2%程度である旨の見解(2/17)

<国、厚生労働省等の対応>

- ・感染症法に基づく「指定感染症」と検疫法に基づく「検疫感染症」に指定(2/1 施行)
- ・湖北省及び浙江省滞在歴がある外国人、湖北省及び浙江省発行の中国旅券を所持する外国人の入国を制限。(2/1 から、2/13 浙江省追加。韓国の大邱・慶尚北道についても 2/26 追加予定)
- ・横浜沖クルーズ船に対する検疫を実施(延べ 3,894 名の検査中陽性 691 名(うち無症状延べ 380 名))
陽性者は医療機関に搬送等(うち 10 名については大阪府内の医療機関に搬送)。
- ・内閣総理大臣を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部(1/30 設置、2/25 第 13 回開催)
対策本部のもとに、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(2/16～)、「国内発生早期」「感染経路を特定できない可能性のある症例が複数認められる」と評価
- ・「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」とりまとめ(2/13)
- ・「帰国者・接触者相談センター」等の更なる充実に関する通知(2/15)
- ・疑似症に該当しない場合も一定の要件の下、医師の判断で検査対象とする旨の通知(2/17)
- ・国民に向けた「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」発出(2/17)
- ・「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」決定(2/25)【資料 1-1】

3. 大阪府の対応

<新型コロナウイルス感染症への対応(検査・医療体制)> 【資料 2、3】

- ・感染が疑われる場合に、患者を診療体制などの整った医療機関につなぐための「帰国者・接触者相談センター」を府内全保健所(18カ所)に設置(2/4)、2/19 から土日祝を含む終日対応相談実態を踏まえ、名称変更「新型コロナ受診相談センター(帰国者・接触者相談センター)(2/26)
- ・疑似症を疑う患者を診察する「帰国者・接触者外来」を二次医療圏に1カ所以上設置
令和2年2月26日時点 8医療圏・58医療機関で設置
- ・大阪健康安全基盤研究所及び堺市衛生研究所で検査体制を整備(最大90人分・180検体/日)
和歌山県から検査数が超過した場合の協力依頼あり(2/20)、150名分の検査を実施(2/21~22)
- ・医療機関に対して、流行地域との関連がなくとも原因不明の肺炎について帰国者・接触者相談センターに相談するよう再通知(2/14)
- ・医療機関からの患者対応の相談を受けるための専用電話相談窓口(医療機関向け新型コロナ受診・検査相談センター)を開設(2/27)
- ・緊急的に対応が必要となる経費について予備費等を充当し対応 (51,414千円+α)(2/21)

空気清浄機、パーテーション、防護服等の整備(32病院分)	45,316千円
リアルタイムPCR装置の整備(大安研 森ノ宮 C:1台)	7,172千円
相談窓口に係る経費(コールセンター委託料等)	2,052千円
患者等の入院費(公費負担分)	4,046千円
医療機関に対する簡易陰圧装置の購入精査中	(+α千円)

計 58,586千円+α

(うち 7,172千円は既定経費対応)